Harmonize Heart and Technology

2027年３月期　第２四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年11月５日

上 場 会 社 名	株式会社クロスキャット	上場取引所	東
コ ー ド 番 号	2307	URL	https://www.xcat.co.jp
代　　表　　者	（役職名）代表取締役社長	（氏名）	山根　光則
問合せ先責任者	（役職名）取締役常務執行役員 コーポレート統括部担当	（氏名）	山下　智己（TEL） 03-3474-5251
半期報告書提出予定日	2026年11月12日	配当支払開始予定日	―

決算補足説明資料作成の有無　　：有
決算説明会開催の有無　　：無　（動画配信のみ）

（百万円未満切捨て）

１．2027年３月期第２四半期（中間期）の連結業績（2026年４月１日～2026年９月30日）

（１）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年３月期中間期	9,335	13.5	1,088	23.6	1,122	22.8	726	9.2
2026年３月期中間期	8,223	2.3	881	1.8	914	1.7	665	14.1

（注）包括利益　2027年３月期中間期　848百万円（15.2%）　2026年３月期中間期　736百万円（17.3%）

	１株当たり中間純利益	潜在株式調整後１株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2027年３月期中間期	51.87	―
2026年３月期中間期	47.47	―

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年３月期中間期	10,129	7,007	69.2
2026年３月期	10,846	6,656	61.4

（参考）自己資本　2027年３月期中間期　7,007百万円　2026年３月期　6,656百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年３月期	―	0.00	―	37.00	37.00
2027年３月期	―	0.00			
2027年３月期（予想）			―	39.00	39.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

３．2027年３月期の連結業績予想（2026年４月１日～2027年３月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,900	3.4	2,150	6.8	2,190	7.2	1,540	1.9	110.03

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※　注記事項

（１）当中間期における連結範囲の重要な変更　：　無

（２）中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　：　無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　：　無

②　①以外の会計方針の変更　：　無

③　会計上の見積りの変更　：　無

④　修正再表示　：　無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年３月期中間期	17,005,674株	2026年３月期	17,005,674株
②　期末自己株式数	2027年３月期中間期	2,988,774株	2026年３月期	3,009,574株
③　期中平均株式数（中間期）	2027年３月期中間期	14,001,105株	2026年３月期中間期	14,014,239株

※　第２四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

１．経営成績等の概況 …… 2
（１）当中間期の経営成績の概況 …… 2
（２）当中間期の財政状態の概況 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．中間連結財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）中間連結貸借対照表 …… 4
（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 …… 6
中間連結損益計算書 …… 6
中間連結包括利益計算書 …… 7
（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書 …… 8
（４）中間連結財務諸表に関する注記事項 …… 9
（継続企業の前提に関する注記） …… 9
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 9

１．経営成績等の概況

（１）当中間期の経営成績の概況

文中の将来に関する事項は、当中間連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

当中間連結会計期間（2026年４月～2026年９月）におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善を背景に緩やかな回復基調が続いている一方、長期化する物価上昇に伴う個人消費への影響や、中東情勢を巡る地政学的リスクの高まり、不安定な為替変動など、景気の先行きは引き続き不透明な状況にあります。

当社グループが属する情報サービス産業を取り巻く環境は、IT人材の不足等の供給面に課題を残しつつも、クラウド、生成AIなどをはじめとする先端IT技術を活用したDX（デジタルトランスフォーメーション）の推進など、社会課題解決に向けたIT投資が引き続き堅調に推移していくと考えております。

このような事業環境下、当社グループは、中長期的な経営方針である経営ビジョンを「独立系情報サービス企業として、持続的な企業価値向上と社会への貢献」と定め、この経営ビジョンのもと、2024年４月よりスタートした中期経営計画「Growing Value 2026」の最終年度を迎えました。現行の中期経営計画では、策定した５つの基本戦略である「価値提供モデルへの転換」、「アセットベースビジネスの拡大」、「顧客基盤の強化」、「人材・組織力の強化」、「各社の強みや特徴を活かしたグループ経営の展開」の各種施策が奏功し、５期連続で売上高及び各利益の過去最高を更新するとともに、中期経営計画にて目標に掲げた収益性に係る財務目標およびKPIを２年目で達成しております。最終年度におきましても、引き続き５つの基本戦略の各種施策を推進し、さらなる業績向上を実現することで、企業価値の向上を目指しております。

これらの結果、当中間連結会計期間の売上高は9,335百万円（前年同期比13.5%増）と前年同期を上回りました。また、主要事業の受注高増加により、引き続き高い稼働率を維持できたことで、原価率が前年同期並みに推移した結果、売上総利益は2,220百万円（前年同期比13.2%増）となりました。

分野別の業績は次のとおりです。

（SI分野）

SI（システムインテグレーション）分野は、クレジットや金融、官公庁・自治体・公共企業、製造、通信、流通など幅広い業種を対象に、システムの設計、開発、運用・保守などにおいて、長年にわたり培ってきた技術やノウハウを活かした高品質なSIサービスを提供しております。当期の業績については、コア事業であるクレジット向けにて大型プライム案件の受注があり前年同期比55.8%増、金融向けにて保険代理店システムの案件が好調に推移し前年同期比8.6%増となりました。また、当社が長年にわたりサービスを提供している公営競技・スポーツ振興くじ向けでも、大型案件の受注があり、前年同期比110.3%増と大きく伸長した結果、売上高は8,110百万円（前年同期比14.7%増）、売上総利益は1,968百万円（前年同期比15.5%増）となりました。

（DX分野）

DX（デジタルトランスフォーメーション）分野は、クラウド・生成AIなどの先端技術を利用したサービスの提供をはじめ、長年にわたり当社が強みとするデータ利活用のための支援サービスや基盤構築、自社開発システムなどの提供により、業務効率化や生産性向上など様々なお客様のDX化に貢献しております。当期の業績については、旺盛なDX需要を背景としたクラウド関連サービスが堅調に推移しました。また、データ利活用の需要拡大によりデータ活用基盤構築等の受注が好調に推移した結果、売上高は1,225百万円（前年同期比6.4%増）となりました。売上総利益は、クラウド関連サービスの事業拡大に向けた先行投資を行ったこと及び特定案件において一時的な追加費用を計上したことにより、252百万円（前年同期比1.5%減）となりました。

		2026年３月期 中間期 累計期間	2027年３月期 中間期 累計期間	前年同期比 増減率
SI分野	売上高（百万円）	7,072	8,110	14.7%
	売上総利益（百万円）	1,704	1,968	15.5%
DX分野	売上高（百万円）	1,151	1,225	6.4%
	売上総利益（百万円）	255	252	△1.5%
合計	売上高（百万円）	8,223	9,335	13.5%
	売上総利益（百万円）	1,960	2,220	13.2%

その他の利益面では、人材の育成と確保に向けた取り組みの一環として積極的な賃上げや新卒・中途社員の採用費、教育施策の拡充など、人的資本への投資が前年同期比で増加したものの、売上高の増加や、販売費及び一般管理費の抑制効果などが上回り、営業利益は1,088百万円（前年同期比23.6%増）、経常利益は1,122百万円（前年同期比22.8%増）となりました。また、親会社株主に帰属する中間純利益は前年同期に投資有価証券売却益を計上した反動減があったものの、こちらも好調な業績が上回り726百万円（前年同期比9.2%増）となりました。

（２）当中間期の財政状態の概況

当中間連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末の10,846百万円に対して717百万円減少し、10,129百万円となりました。これは主として投資有価証券が172百万円増加した一方で、現金及び預金が752百万円、売掛金及び契約資産が253百万円減少したことによるものです。

負債につきましては、前連結会計年度末の4,190百万円に対して1,068百万円減少し、3,121百万円となりました。これは主として、短期借入金が700百万円、賞与引当金が126百万円減少したことによるものです。

純資産につきましては、前連結会計年度末の6,656百万円に対して351百万円増加し、7,007百万円となりました。これは主として、親会社株主に帰属する中間純利益の計上による増加726百万円、その他有価証券評価差額金の増加125百万円と、剰余金の配当による減少517百万円によるものです。

以上の結果、当中間連結会計期間末の自己資本比率は、前連結会計年度末の61.4%に対して7.8ポイント上昇し、69.2%となりました。

（キャッシュフローの状況）

当中間連結会計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ752百万円減少し、当中間連結会計期間末には2,551百万円となりました。

当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は664百万円(前年同期は1,953百万円の獲得)となりました。収入の主な内訳は、税金等調整前中間純利益1,122百万円、売上債権の減少額1,989百万円であり、支出の主な内訳は、契約資産の増加額1,735百万円、法人税等の支払額388百万円であります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は204百万円(前年同期は67百万円の獲得)となりました。支出の内訳は、有形固定資産の取得による支出27百万円、投資有価証券の取得による支出121百万円、無形固定資産の取得による支出7百万円、敷金及び保証金の差入による支出50百万円であります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は1,212百万円(前年同期は1,798百万円の使用)となりました。支出の内訳は、短期借入金の純減額700百万円、配当金の支払額512百万円であります。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、現時点で2026年５月13日に「2026年３月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

２．中間連結財務諸表及び主な注記

（１）中間連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2026年３月31日)	当中間連結会計期間 (2026年９月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,304,336	2,551,954
売掛金及び契約資産	4,823,980	4,570,125
その他	188,431	253,051
貸倒引当金	△4,804	△4,542
流動資産合計	8,311,943	7,370,588
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	407,620	409,933
減価償却累計額	△172,616	△183,261
建物及び構築物（純額）	235,004	226,671
工具、器具及び備品	350,192	371,395
減価償却累計額	△244,429	△261,547
工具、器具及び備品（純額）	105,762	109,848
リース資産	19,708	－
減価償却累計額	△18,301	－
リース資産（純額）	1,407	－
土地	147	147
その他	1,500	1,500
減価償却累計額	△1,499	△1,499
その他（純額）	0	0
有形固定資産合計	342,321	336,667
無形固定資産		
のれん	74,827	49,884
その他	72,653	55,448
無形固定資産合計	147,480	105,333
投資その他の資産		
投資有価証券	1,547,500	1,719,755
その他	496,897	596,673
投資その他の資産合計	2,044,397	2,316,428
固定資産合計	2,534,200	2,758,429
資産合計	10,846,144	10,129,017

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2026年３月31日)	当中間連結会計期間 (2026年９月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	754,934	740,440
短期借入金	700,000	―
未払法人税等	405,255	430,139
賞与引当金	443,406	317,132
受注損失引当金	11,962	15,598
その他	1,091,145	752,529
流動負債合計	3,406,704	2,255,839
固定負債		
退職給付に係る負債	560,517	554,081
資産除去債務	200,516	202,523
その他	22,264	108,716
固定負債合計	783,298	865,321
負債合計	4,190,002	3,121,161
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,000,000	1,000,000
資本剰余金	38,727	46,798
利益剰余金	6,857,229	7,065,594
自己株式	△1,847,135	△1,834,369
株主資本合計	6,048,821	6,278,023
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	565,235	690,833
退職給付に係る調整累計額	42,084	38,999
その他の包括利益累計額合計	607,320	729,832
純資産合計	6,656,141	7,007,856
負債純資産合計	10,846,144	10,129,017

（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自 2025年４月１日 至 2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自 2026年４月１日 至 2026年９月30日）
売上高	8,223,798	9,335,830
売上原価	6,263,087	7,115,326
売上総利益	1,960,710	2,220,503
販売費及び一般管理費	1,079,710	1,131,756
営業利益	881,000	1,088,747
営業外収益		
受取配当金	26,092	35,252
助成金収入	2,567	565
その他	8,173	6,861
営業外収益合計	36,832	42,679
営業外費用		
支払利息	3,412	1,222
支払手数料	255	90
出資金評価損	－	7,652
営業外費用合計	3,668	8,965
経常利益	914,164	1,122,461
特別利益		
投資有価証券売却益	81,108	－
特別利益合計	81,108	－
特別損失		
固定資産除却損	3,660	0
特別損失合計	3,660	0
税金等調整前中間純利益	991,612	1,122,461
法人税、住民税及び事業税	313,281	412,291
法人税等調整額	13,077	△16,050
法人税等合計	326,358	396,240
中間純利益	665,253	726,221
非支配株主に帰属する中間純利益	－	－
親会社株主に帰属する中間純利益	665,253	726,221

中間連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2025年４月１日 至 2025年９月30日)	当中間連結会計期間 (自 2026年４月１日 至 2026年９月30日)
中間純利益	665,253	726,221
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	69,447	125,597
退職給付に係る調整額	2,026	△3,085
その他の包括利益合計	71,474	122,512
中間包括利益	736,727	848,733
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	736,727	848,733
非支配株主に係る中間包括利益	－	－

（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自 2025年４月１日 至 2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自 2026年４月１日 至 2026年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	991,612	1,122,461
減価償却費	65,794	51,256
のれん償却額	24,942	24,942
株式報酬費用	12,775	10,968
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△1,586	△261
賞与引当金の増減額（△は減少）	△84,247	△126,274
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	937	△10,940
受注損失引当金の増減額（△は減少）	11,714	3,636
受取利息及び受取配当金	△28,666	△39,206
支払利息	3,412	1,222
固定資産除却損	3,660	0
契約資産の増減額（△は増加）	△835,181	△1,735,460
売上債権の増減額（△は増加）	2,423,300	1,989,315
棚卸資産の増減額（△は増加）	△56	△3,002
仕入債務の増減額（△は減少）	55,849	△14,494
投資有価証券売却損益（△は益）	△81,108	－
投資有価証券評価損益（△は益）	－	7,652
その他	△329,109	△267,047
小計	2,234,042	1,014,768
利息及び配当金の受取額	28,666	39,206
利息の支払額	△2,802	△1,125
法人税等の支払額	△306,161	△388,270
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,953,745	664,579
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△18,986	△27,960
投資有価証券の取得による支出	－	△121,500
投資有価証券の売却による収入	100,000	－
無形固定資産の取得による支出	△13,216	△7,091
敷金及び保証金の差入による支出	－	△50,206
敷金及び保証金の回収による収入	20	2,686
投資活動によるキャッシュ・フロー	67,816	△204,072
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	△1,200,000	△700,000
配当金の支払額	△460,324	△512,888
自己株式の取得による支出	△138,365	－
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,798,689	△1,212,888
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	222,872	△752,381
現金及び現金同等物の期首残高	2,683,140	3,304,336
現金及び現金同等物の中間期末残高	2,906,012	2,551,954

（４）中間連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。